



「ワールド・ウォーター・ファンド」  
Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）

ご参考資料 | 2020年8月24日

## 成長性と安定性を兼ね備える水関連株式



- ポイント**
1. メガトレンドに沿った投資で、長期的な成長を目指す運用
  2. 水問題解決への貢献が期待される主なビジネス分野
  3. 運用者の注目する水関連銘柄

### 1. メガトレンドに沿った投資で、長期的な成長を目指す運用

世界では経済成長、人口増加、都市化の加速により、一人当たりの水の使用量が著しく増加している中、水問題に取り組むことが求められています。肥料の多用等により環境汚染が進み、使用できる水資源が減少する一方で、より多くの人々に安全な水を届けることが求められています。また、高齢化の進展やリスク管理の厳格化に伴い、規制物質の数が増加傾向にあり、より正確な測定が求められている等、水質管理が厳格化されています。また、財政難の地方自治体等は水インフラに対する投資資金が捻出できないことなどを背景に、民間企業による水道事業への進出（民営化）が予想されることから、水質の担保が重要な課題となっています。

「ワールド・ウォーター・ファンド」（以下、当ファンド）では、ESG（環境・社会・企業統治）や国連の17の持続可能な開発目標（SDGs）問題に取り組みつつ、水ビジネスの長期的な成長から恩恵を享受することを目標として投資を行なっています。

水関連株式については、公益関連株式等、業績が景気の影響を受けにくい銘柄が含まれているため、市場下落局面においても価格変動が相対的に小さくなる傾向がありました（右下図参照）。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

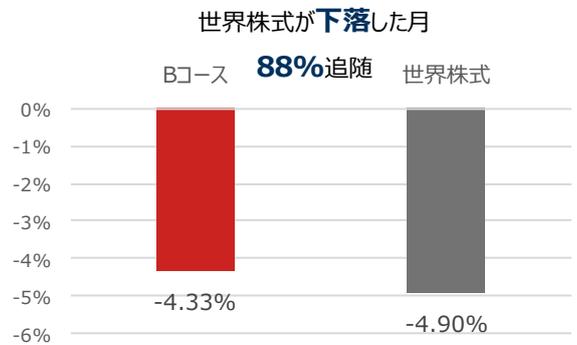
基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2015年7月31日～2020年7月31日、日次  
期首を100として指数化。世界株指数については、7ページをご参照ください。世界株指数はファンドのベンチマークではありません。基準価額（分配金再投資）については5ページをご参照ください。

（出所）Bloomberg等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

### 世界株式が下落した月におけるパフォーマンス



期間：2010年7月末～2020年7月末、月次  
世界株式は世界株指数。世界株指数については、7ページをご参照ください。世界株式が下落した月におけるパフォーマンスとは、2010年7月末以降の月次リターンで、世界株式が下落した月の平均騰落率。追随とは、下落局面における世界株式の動きに対するBコースの値動きの割合です。

（出所）Bloomberg等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

## 2. 水問題解決への貢献が期待される主なビジネス分野

当ファンドは、水問題に取り組む上で重要だと考える上下水道ビジネス、装置製造・エンジニアリング、環境マネジメント・サービスなどの分野において、優れた企業を厳選して投資しています。

### 当ファンドが投資対象とする主なビジネス分野

#### 上下水道ビジネス

飲料水の供給と貯蓄を通じ、  
社会に行使する企業

例：ヴェオリア・エンバイロメント

#### 装置製造・エンジニアリング

水使用の質と効率の改善に資  
する機器・システム開発企業

例：エコラボ

#### 環境マネジメント・サービス

汚水処理と廃棄物処理の  
ソリューションを提供する企業

例：ウェイスト・マネージメント

### 上下水道ビジネス

生活に必要な水インフラに関わる企業に投資しています。この分野の企業は、安全な水をより多くの人に届ける上で、中心的な役割を担っています。伝統的に、公営企業がこれら事業の運用を担ってきましたが、国や地方自治体の水インフラへの投資不足等により施設の老朽化が進んだこと等から、民間の資金が必要になり民営化が進行していると考えます。

### 装置製造・エンジニアリング

水の使用にあたり質と効率の改善を叶える機器やシステムを開発する企業を投資対象としています。水質に関する規制等が強化されている中、これらに対応するインフラの革新やモニタリング需要が旺盛であると考えています。また、人口増加に伴う食糧需要の拡大等を背景に農業が活発化し、水の使用量が増加する中、効率化を図る製品やテクノロジーが必要とされています。さらに、水道インフラの発達の遅れから、飲用水へのアクセスが限定的な地域や、インフラが整備されていても、自宅でより高品質な水へアクセスしたいという需要に対応する浄水器等のコンシューマー・テクノロジー等を投資テーマとしています。

### 環境マネジメント・サービス

限られた資源の有効活用や、生態系と環境保護のための汚水や廃棄物処理のソリューションを提供する企業に投資しています。資源の量は限られている一方で、消費社会の発達や人口増加に伴い水の使用や汚水の量が増加しており、環境汚染や生態系の破壊等が問題となっています。これらに取り組むため、廃棄物処理を通して水の質の保全や再利用を可能とする企業や、より環境に優しい水供給を達成するためのエンジニアリングやコンサルティングを行なっている企業に注目しています。

上記のどの分野を取っても、ESGやSDGsに貢献する製品・サービスを通じて、環境と社会問題に対し、持続可能な解決策提供に貢献するテーマへ投資しています。また、サステナビリティ（持続可能性）を大切に、投資プロセスにESG基準を組み入れることで、投資家の利益とESGへの貢献の両方を目指しています。

(注) 上記分類は、ピクテ投信投資顧問独自の分類になります。

### 3. 運用者の注目する水関連銘柄

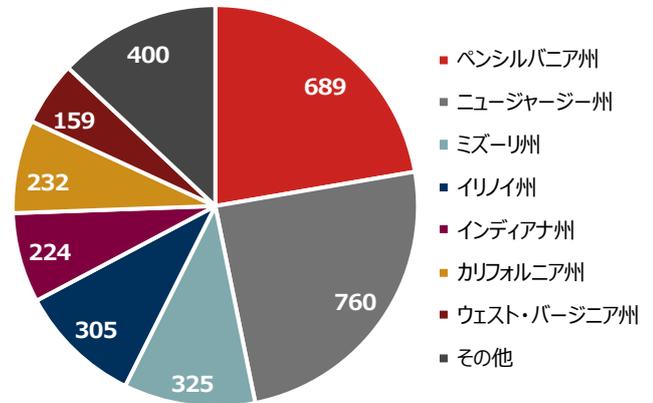
#### 事業の安定性に注目の上下水道ビジネス関連銘柄

多くが国や自治体の規制下にある上下水道ビジネス関連企業は、生活や経済活動に欠かせない分野で事業を展開していることから、安定した収益性や、インフレやコストを容易に価格転嫁することが可能な点が魅力的だと考えます。

その中でも2銘柄に特に注目しています。1銘柄目のアメリカン・ウォーター・ワークス（米国、公益）は、米国47州及びカナダのオンタリオ州で上下水道公益事業の保有及び住宅や商工業の顧客を対象とする上下水道サービスを提供する米国最大の上場水道会社です。売上の86%を安定的な規制下の事業が占めていること、分散された地域で事業を展開していることに加え、老朽化した水道管や漏れの改善等の環境改善に役立つ投資を実施・計画しており、水利用の効率化や汚染問題の解決に取り組んでいる優良企業であると考えています。

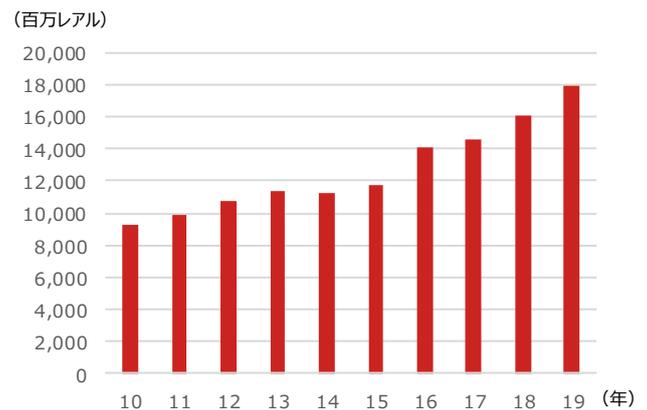
2銘柄目のサンパウロ州基礎衛生公社（ブラジル、公益）は、浄化処理と配水事業を展開する、（顧客数ベースで）南米最大の水関連公益企業です。同企業の魅力として、配当利回りが魅力的な水準にあることに加え、サンパウロ州政府が民営化を検討していることが挙げられます。実現した場合、より株主を重視した経営（株主還元の強化やガバナンス面の改善等）を行なうことが求められるであろうことに加え、事業の効率化に伴う収益性の改善等が見込まれ、株価の上昇余地があると考えています。また、アメリカン・ウォーター・ワークス同様、環境に対する取り組みを評価しています。

アメリカン・ウォーター・ワークスの  
規制下の事業の売上配分（百万米ドル）



期間：2019年度  
（出所） 同社決算資料を基に野村アセットマネジメント作成

サンパウロ州基礎衛生公社の売上高推移



期間：2010年～2019年  
（出所） ファクトセットのデータを基に野村アセットマネジメント作成

各社の株価推移



期間：2017年7月31日～2020年7月31日、日次  
それぞれの期首を100として指数化。両社ともに米ドルベース  
（出所） Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

記載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

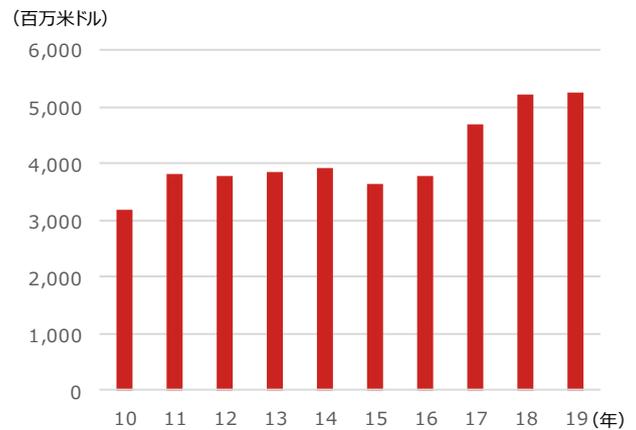
## 高品質な水の提供を可能とする装置製造・エンジニアリング関連銘柄にも注目

安全で質の優れた水を集水し、消費者の元に届け、自然に戻す、または再利用する上で、不可欠な機器や設備等の製造、販売にかかわる企業も、水問題を解決する上で重要な役割を担っています。

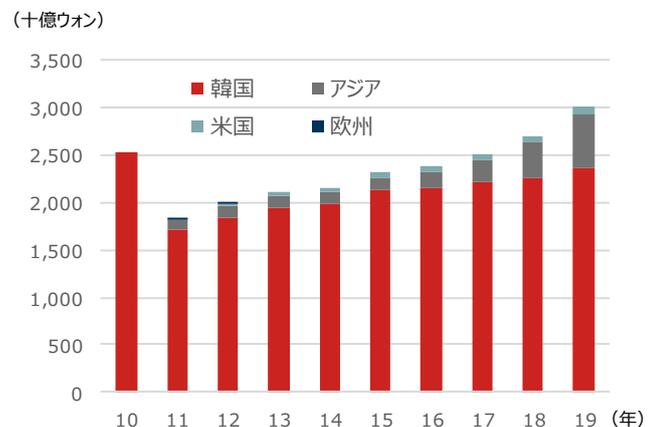
その中でも、2銘柄に注目しています。1銘柄目のザイレム（米国、資本財・サービス）は、集水から浄化までの上下水道事業の全過程に関わる企業です。上下水道用ポンプ、水処理、試験設備や測定装置、バルブや給水設備等と幅広い製品を展開しており、主に配水用設備を水関連公益企業に販売しています。各製品が業界をリードする技術を誇っている上、水供給全体において存在感を発揮している点を評価しています。

2銘柄目のウンジン・コーウェイ（韓国、一般消費財・サービス）は、浄水器及び空気清浄機を提供する企業です。特徴として、ハイエンド商品を独自の訪問営業を通して、レンタル方式で提供しています。レンタル方式のため、継続的な売上げが見込めることを大きく評価しています。また、韓国における業界リーダーであることに加え、マレーシアや米国を筆頭に海外における売上げを順調に伸ばしており、収益源の地域分散が図られていることにも注目しています。

### ザイレムの売上高推移



### ウンジン・コーウェイの売上配分



期間：2010年～2019年

(出所) ファクトセットのデータを基に野村アセットマネジメント作成

### 各社の株価推移



期間：2017年7月31日～2020年7月31日、日次

それぞれの期首を100として指数化。ザイレムは米ドルベース、ウンジン・コーウェイは韓国ウォンベース

(出所) Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

記載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

「ワールド・ウォーター・ファンド」

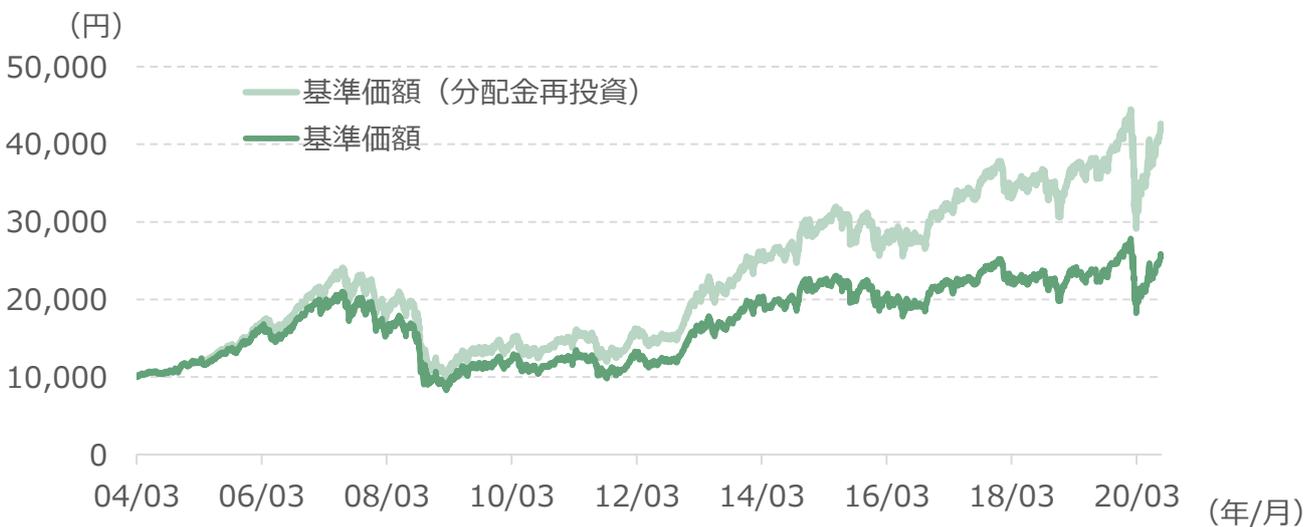
## ファンドの運用状況

期間：2004年3月26日（設定日）～2020年8月18日、日次

### Aコースの基準価額の推移



### Bコースの基準価額の推移



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## (ご参考)「ワールド・ウォーター・ファンド」の積立投資のシミュレーション

### 積立投資の魅力

投資信託への投資方法の一つに、定期的に一定額、もしくは一定数を買付け「積立投資」があります。

「積立投資」は、買付けのタイミングを分散させることで、買いコストをならしつつ資産形成を進めることが可能となります。また、一定額で積み立てた場合、基準価額が高い時には少なく、安い時には多く買付けするため、一定数で積み立てた場合より、平均コストを低く抑えることが期待できます。

このことから、投資のタイミングに迷われる方や、これから将来に向けて資産を築いていこうという方には、是非ご検討頂きたい投資方法です。

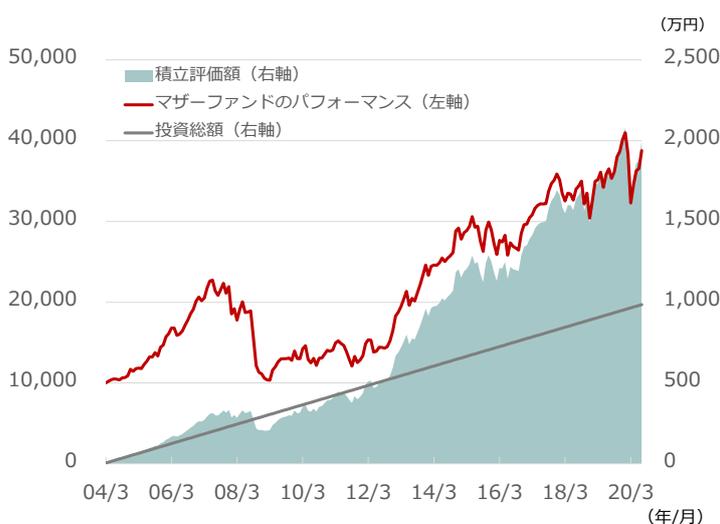
左下のグラフは、ファンドに、設定月末の2004年3月末から毎月末に5万円ずつ積み立てたと仮定した場合の投資総額と積立評価額の推移を表しています。

2020年7月末時点の積立評価額は約1,997万円となり、同時点の投資総額985万円を大きく上回りました。

「積立投資」といえ、スタートタイミングや売却のタイミングにより、その成果には差が出ます。

右下の表は、2004年3月末から2020年2月末の期間において、積立開始月を1年ずつずらして、毎月5万円を5年間継続して積み立てた事例です。下記の事例においては、リーマンショック後の安値圏で積立投資が終了したケースを除き、プラスの評価益となりました。投資総額300万円に対する積立評価額は、最大で494万円、最低205万円、平均352万円となりました。

### 当ファンドの積立投資のパフォーマンス



### 当ファンドに5年間積立投資した場合の例

積立開始	積立終了	投資総額 (万円)	積立評価額 (万円)	積立評価益 (万円)
2004年3月	2009年2月	300	205	-95
2005年3月	2010年2月	300	246	-54
2006年3月	2011年2月	300	267	-33
2007年3月	2012年2月	300	297	-3
2008年3月	2013年2月	300	394	94
2009年3月	2014年2月	300	481	181
2010年3月	2015年2月	300	494	194
2011年3月	2016年2月	300	388	88
2012年3月	2017年2月	300	390	90
2013年3月	2018年2月	300	360	60
2014年3月	2019年2月	300	344	44
2015年3月	2020年2月	300	352	52



上記は、2004年3月末から「ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド」に毎月末5万円ずつ積立投資を行なった場合のシミュレーションです。

「ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド」の設定日（2004年3月26日）の月末である2004年3月末を10,000として各月間騰落率を用い算出しています。ファンドと同様の購入時手数料（3.3%）、運用管理費用（信託報酬相当の年1.87%）を控除しています。上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、マザーファンドのパフォーマンスを基に試算した結果であり、実際のファンドで積立投資をする場合とは異なります。積立の時期によっては、積立評価額が投資総額を下回る場合があります。

## 「ワールド・ウォーター・ファンド」

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界の株式を実質的な主要投資対象<sup>\*</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。
- 銘柄選定にあたっては、投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。  
※ただし、市況動向等により弾力的に変更を行なう場合があります。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、「ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド」、「ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ」および「ピクテ投信投資顧問株式会社」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年4月10日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
 分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。  
\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

＜当資料で使用した指数について＞

世界株指数：MSCI World指数（円換算ベース）ファンドの市場反映タイミングに合わせ日ずらししています。

＜当資料で使用した指数の著作権等について＞

● MSCI World指数はMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 「ワールド・ウォーター・ファンド」

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## 【お申込メモ】

- 信託期間 2024年4月10日まで(2004年3月26日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則4月10日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 【当ファンドに係る費用】

(2020年8月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.87%(税抜年1.70%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## 【分配金に関するご留意点】

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

## ◆お申込みは

## 野村証券

商号：野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## ◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会／  
一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。